

# 子どもの水辺活動事例

(令和元年度子どもの水辺活動報告より抜粋)

令和元年度「子どもの水辺」活動報告の中から「活動実績」と「学校等との連携」が活発に行われている事例を抽出（17件）

- ・活動実績 …活動実績とあわせ、地域等との連携を図っている写真が掲載されている水辺
- ・学校等との連携 …学校との連携や、小中高校等の授業での活用実績等がされている水辺

登録番号	子どもの水辺名	都道府県	水系
01-16-025	伏古別川水辺の楽校	北海道	十勝川
01-16-026	ウツベツ川水辺の楽校	北海道	十勝川
01-16-028	売買川水辺の楽校	北海道	十勝川
01-19-034	望月寒ふれあい水辺	北海道	石狩川
03-16-001	江刺北上川水辺の楽校運営協議会	岩手県	北上川
04-14-001	下伊場野水辺の楽校運営協議会	宮城県	鳴瀬川
07-14-001	渡利水辺の楽校	福島県	阿武隈川
11-22-003	中川やしお子どもの水辺	埼玉県	利根川
13-15-004	福生子どもの水辺	東京都	多摩川
13-17-014	霞川子どもの水辺	東京都	荒川
13-20-020	たちかわ水辺の楽校	東京都	多摩川
13-25-022	うのき水辺の楽校	東京都	多摩川
14-20-006	鶴見川流域子どもの水辺・新羽	神奈川県	鶴見川
22-30-010	瀬戸川子どもの水辺	静岡県	瀬戸川水系
23-18-009	矢田川子どもの水辺	愛知県	庄内川
25-15-002	日野川わくわくウォーターランド	滋賀県	日野川
32-12-004	斐伊川子どもの水辺	島根県	斐伊川
32-19-007	本庄水辺の楽校推進協議会	島根県	宍道湖・中海
36-16-003	子どもの水辺「四国三郎」	徳島県	吉野川
44-15-003	乙津川水辺の楽校	大分県	大野川

# ウツベツ川水辺の楽校

河川名 ウツベツ川(十勝川水系)  
 場所 北海道帯広市  
 登録年度 平成16年度  
 登録番号 01-16-026

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学4年	総合的な時間	年間約 170 人	( ①、②、④、⑦、⑧、⑫、⑬ )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」                  |
| ⑦洪水や濁水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

### ①主な活動内容

本校では、地域を知り、愛着をもつ心を育てるとともに、環境教育・体験活動の場として、アークコーポレーションから外部講師の野村直也氏、十勝川の生態系再生実行委員会からさけ・ます教育コーディネーターの石垣 彰氏らを招いて、水質・生物調査を行っています。

### ②PRポイント

校区内を流れている、小川であり、安全に観察や調査ができます。  
 水がきれいな川であり、水生生物調査ができます。  
 4年生の学習に合わせて、水辺の安全講習会を毎年実施しています。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

◆9月9日「ウツベツ川水辺の学習」を実施  
 ウツベツ川の生態について、観察や調査を実施しました。

◆学習のまとめとして「川の学習発表会」を実施  
 水辺での学習を元に水中生物を調べて、パネルディスカッションを実施しました。



### ④課題・問題点等

学習指導要領の改訂における授業時数の増加等に伴い、活動時間や事後学習に割く時間を確保することが難しくなっています。そのため、荒天等で実施できない場合の日程調整が、とても大変です。

# 売買川水辺の楽校

河川名 売買川(十勝川水系)  
 場所 北海道帯広市  
 登録年度 平成16年度  
 登録番号 01-16-028

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小3年	総合的な学習	年間約 81 人	( ② )
小5年	理科	年間約 89 人	( ⑧ )
		年間約	( )
		年間約	( )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」                  |
| ⑦洪水や渇水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

### ①主な活動内容

本校では、3年生の総合的な学習の中で川の環境学習をしている。その一環として、北開水工から外部講師を招き、水質・生物調査を行った。  
 また、5年生では理科の学習もかねて、北開水工と北海道開発局開発建設部の方に講師に来ていただき「流れる水のはたらき」、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所の方にきていただき「防災」

### ②PRポイント

学校のすぐ横を流れる売買川はサケの泳ぐ自然豊かな川です。水生生物による水質調査をしましたが、とても水がきれいなことがわかりました。水深も浅いので観察などでは水に親しむ事ができます。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

- ◆9月10日 川の水質調査を実施
  - 説明 「水質調査の仕方について」
  - 講師 北開水工 松川 優一 氏
  - 調査 「水生物から水質を調べよう」
  - 講師 北開水工 松川 優一 氏
- ◆10月29日 流れる水のはたらき出前講座を実施
  - 出前授業 「流れる水のはたらき」
  - 講師 国立研究開発法人土木研究所  
寒地土木研究所 道東支所  
支所長 前川 和義 氏  
研究員 大野 修 氏
- ◆11月12日 流れる水のはたらき出前講座を実施
  - 出前授業 「川の防災について」
  - 講師 北海道開発局開発建設部治水課



### ④課題・問題点等

次年度から時数増への対応、働き方改革の一環から、学校全体でカリキュラム等の見直しを行っている。

# 望月寒ふれあいの水辺

河川名 望月寒川(石狩川水系)  
 場所 北海道札幌市  
 登録年度 平成19年度  
 登録番号 01-19-034

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学2年生	生活	年間約 90 人	( ①,⑤ )
小学3年生	総合	年間約 30 人	( ⑭ )
小学4年生	総合	年間約 70 人	( ⑥,⑧ )
小学5年生	総合	年間約 30 人	( ②,④ )
小学6年生	総合	年間約 20 人	( ③,⑫,⑬ )

- ①自然や水に親しむ「親水活動」
- ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」
- ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」
- ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」
- ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」
- ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」
- ⑦洪水や渇水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」
- ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」
- ⑨花火・祭り・風揚げなどの「イベント活動」
- ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」
- ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」
- ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」
- ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」
- ⑭その他の活動

### ①主な活動内容

本「子どもの水辺」では、平成19年度に望月寒川(JR函館本線上流(2条7号区間終点)～道道89号札幌環状線)を、地域がふれあう身近な水辺として未来に継承していくことを目的に、地域住民、自治体、地域活動団体、教育関係者、河川管理者(札幌建設管理部事業課)からなる「望月寒ふれあいの水辺」協議会を設立し、活動を実施している。対象区間には3つの小学校があり、これらの小学生を対象に水防災教育、河川愛護、自然体験等をテーマとした学習を実施している。

### ②PRポイント

札幌市街地を流れる望月寒川は、改修工事により平成24年より親水空間(緩傾斜区間)が作られ、その親水空間を中心とした活動を実施している。平成19年度より活動を続けている西白石小学校では、3年生から6年生までの学習の中で、地域の身近な川を知る学習、地域の歴史や河川の防災に関する学習、河川環境学習、河川美化活動と、段階的な総合学習を実施している。白石小学校でも3年前から2年生の生活の学習(身近な生きものさがし)に川を利用している。

### ③令和元度4月～3月の主な活動実績



時期	実施項目	参加主体	実施日	主な活動内容
7月	河川環境学習	西白石小5年	7月9日	河道内のゴミ拾い
	河川清掃活動	西白石小6年	7月16日	川で、水質や川の生物の授業
	親水施設開放	町内会・地域住民	7月27日	緩傾斜区間(親水施設)で、施設開放の実施
9月	歴史・文化	西白石小4年	9月3日	望月寒川と周辺の歴史授業
	まちの生きものさがし	白石小2年	9月10日	川の生きものの採集と観察
10月	望月寒川をたどって	西白石小3年	10月3日	川をたどって、「なぜ?」「なに?」を学習
	気象・水防災	西白石小4年	10月11日	天気や洪水の授業
12月	さっぽろこども環境コンテスト	西白石小6年	12月7日	これまで水辺の楽校で学んできた事をまとめて発表(小学校の部、最優秀賞を受賞)

※ 水辺での活動時は約3km上流にて技術者が水位監視をおこなっているため、ライフジャケットは着用していない。

### ④課題・問題点等

活動を継続的に続けるには地域との連携や自立した活動を実施しなくてはならず、河川環境に関するインタープリテーションの要請が不可欠となる。

# 江刺北上川水辺の楽校

河川名 北上川(北上川水系)  
 場所 岩手県江刺市  
 登録年度 平成16年度  
 登録番号 03-16-001

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学4年生	総合学習	年間約48人	(水質調査活動)
小学4年生	総合学習	年間約48人	(スポレク活動・安全講習)
		年間約	( )
		年間約	( )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・風揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」                  |
| ⑦洪水や濁水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

### ①主な活動内容

本「水辺の楽校」では、北上川(奥州市、広瀬川との合流点周辺など)の水辺の利活用の促進を図るため、江刺愛宕地区振興会役員等で構成する水辺の楽校運営協議会と地区内自治会、地元利用団体が連携し、草刈り、ゴミ拾い等環境維持を図り、江刺愛宕小学校の環境教育・体験活動の場として水質・生物調査等を行うとともに、子どもの体験活動を支援するための人材育成や、安全対策等の講習会に積極的に取り組んでいる。

### ②PRポイント

河川敷は4月の一斉清掃活動や毎月の草刈りが実施され、グランドゴルフ、魚釣り、バーベキューなど頻繁に活用されています。地区の防災訓練など、様々な行事にも有効に活用されています。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

- ◆4月20日「北上川一斉清掃活動」を実施(150名参加)  
奥州市主催の事業に協力し地域住民に呼びかけて水辺の楽校のゴミ、流木などを片付けた
- ◆5月18日「水辺の楽校除草作業」を実施  
田谷自治会による草刈り
- ◆6月16日「水辺の楽校除草作業」を実施  
二子町自治会による草刈り
- ◆7月18日「水辺の安全教室inえさしおだき」を実施  
江刺愛宕小学校4年生を対象に水辺の安全教室とカヌー体験を行い水辺に親しんだ  
国交省岩手河川国道事務所水沢出張所主催
- ◆7月21日「水辺の楽校除草作業」を実施  
川西自治会による草刈り
- ◆8月18日「水辺の楽校除草作業」を実施  
川東自治会による草刈り
- ◆8月26日「江刺愛宕小学校4年生による水質調査及び生物調査」を実施  
下川原水辺環境をよくしよう会との水質調査  
国交省岩手河川国道事務所水沢出張所との生物調査
- ◆9月14日「水辺の楽校除草作業」を実施  
下川原振興会による草刈り
- ◆10月6日「水辺の楽校除草作業」を実施  
桜木団地自治会による草刈り
- ◆4月～10月「毎週火曜日にグランドゴルフコースを除草」



### ④課題・問題点等

施設設置以降時間が経過し、地区住民の世代交代が進んだことから、施設への関心が薄れてきている現状がある。

# 下伊場野水辺の楽校

河川名 鳴瀬川(鳴瀬川水系)  
 場所 宮城県大崎市  
 登録年度 平成14年度  
 登録番号 04-14-001

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学1～6年	総合学習	年間約 20 人	( サケの放流 )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらおうなどの「広報活動」                 |
| ⑦洪水や濁水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

### ①主な活動内容

本協議会は、鳴瀬川の良好な水辺空間、安全で豊かな生活環境を形成することを目的に、「親子カヌー教室」「感謝のつどい」を実施し、区域内の活用推進に努め、維持管理活動として「除草作業」「水辺クリーン作戦」を実施しております。

### ②PRポイント

地域の方々と共に、河川敷及び周辺堤防の除草作業やゴミ拾い等を行い、良好な水辺空間を創造し、河川環境の美化に努めております。また、隣接している大崎市立下伊場野小学校の校外学習の場としても利用されております。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

#### ◆9月29日「感謝のつどい」を実施

概要

地域の方々とイベントなど行い、交流を深めた。

#### ◆10月3日「水辺クリーン作戦」を実施

概要

鳴瀬川河川敷のゴミ拾いを行った。

#### ◆2月25日「サケの放流」を実施

概要

12月から育てたサケの稚魚約4,000匹を鳴瀬川に放流した。



### ④課題・問題点等

# 渡利水辺の楽校

河川名 阿武隈川(阿武隈川水系)  
 場所 福島県福島市  
 登録年度 平成14年度  
 登録番号 07-14-001

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学校5年	総合学習	年間約 420 人	( ①、②、③ )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・風揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」                  |
| ⑦洪水や濁水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

- ①主な活動内容
- ・河川国道事務所と連携し安全利用点検を実施
  - ・地区小学校の総合学習の場として活用
  - ・サケの稚魚放流

- ②PRポイント
- ・地区小学校の総合学習に寄与しています。
  - ・水辺の楽校として整備されており、自然に親しむことができます。
  - ・サケの遡上観察ができます。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

- ・H31年4月11日 河川における安全利用点検の実施  
概要:ゴールデンウィーク前における点検
- ・R元年6月7日 小学校授業協力(5年生)  
概要:水質調査
- ・R元年7月2日 河川における安全利用点検の実施  
概要:夏休み前における点検
- ・R元年12月10日 水質調査  
概要:パックテストによる水質調査
- ・R元年1月27日 サケの稚魚放流  
概要:小学校児童と放流
- ・R元年3月3日 サケの稚魚放流  
概要:小学校で飼育した稚魚を児童と放流



小学校授業協力



稚魚放流

### ④課題・問題点等

# 中川やしお子どもの水辺

河川名 中川(利根川水系)  
 場所 埼玉県八潮市  
 登録年度 平成22年度  
 登録番号 11-22-003

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学5年生	総合学習	年間約 120 人	( ①、②、③ )
		年間約 人	( )
		年間約 人	( )
		年間約 人	( )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・風揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」                  |
| ⑦洪水や渇水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

### ①主な活動内容

本「子どもの水辺」は、中川(埼玉県八潮市)の水辺の利活用の促進を図るため、市民と行政(八潮市)が連携し、近隣小学校の環境教育・体験活動の場として、また、多くの市民等に利用される水と緑をテーマにした新しい観光スポットとして、カヌーやEボート体験、草刈り・清掃活動、生き物観察、デイキャンプ、十五夜鑑賞会等を行っています。今後も、中川やしお水辺の楽校をより多くの方々に知っていただき利用していただけるようPR活動や水辺の楽校を安全に安心して利用できるよう施設の維持管理に積極的に取り組んでいきます。

### ②PRポイント

開校(平成27年5月17日)して5年目を迎え、散策や生き物探しに訪れる方も増え、各種事業(イベント)の開催が定着してきたところです。八潮市が接する中川の広い河川敷に整備された水辺の楽校を中心に、隣接する「中川やしおフラワーパーク」で開催される花桃まつり(3月)との合同イベントや中川に親しむカヌー体験、夏まつり、野外料理など、子どもから大人まで楽しく学び、自然を満喫できる楽校です。これから更に、皆さんに親しまれる施設となるよう、新しい試みを検討しながら多くの活動を予定しています。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

令和元年10月5日 運営協議会 草刈り及び清掃活動  
 令和2年3月22日 運営協議会 水辺の楽校特別イベント(中止)

- ・中川探検隊 野外料理、生き物観察、テント・タープの張り方、カヌー体験、デイキャンプ、物づくり
- ・日本子どもチャレンジランキング連盟八潮支部 ゴムボート体験ミニチャレンジ大会
- ・八潮市子ども会育成者連絡協議会 夏まつり(ラジオ体操、魚つかみ)
- ・やしお市民大学OB会 バーベキュー(調査研究活動)
- ・タイトウッドカヌークラブ カヌー体験、キャンプ
- ・パドルウォーカーズカヌークラブ カヌー教室
- ・八潮市立潮止小学校 水質調査、草刈り活動
- ・中川やしおフラワーパークみんなの手で育てる会 十五夜観察、手漕ぎボート体験



### ④課題・問題点等

本施設も含めた周辺環境への期待は大きく、開校して5年、いろいろな取り組みを実施してきました。これまでの課題や反省点を踏まえ、改善を重ねていくところです。他の水辺の楽校の事例なども活用し、本楽校の認知度の向上、利用者の増加を目指して、事業の充実を図ります。平成31年度(令和元年度)は、台風の直撃を経験し、樹木の枝が多数折れ、散策路の砂が流されたりなど自然災害による施設の修繕が多く発生しました。また、ここ数年で水路内の葦が大量に繁殖しており、カヌーやボートの進路に支障があるため、対応策を考えながら今後も引き続き維持管理に係る課題の整理を行っていきます。

# 福生子どもの水辺(福生水辺の楽校)

河川名 多摩川(多摩川水系)  
 場所 東京都福生市  
 登録年度 平成15年度  
 登録番号 13-15-004

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学1-6年、中学1年	総合学習	年間約 1,920 人	( 市内小中学校における多摩川の総合学習支援 )
小学1-6年、中学(学年不明)	理科	年間約 不明 人	( ヤマメの卵配付事業 )
		年間約 人	( )
		年間約 人	( )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」                  |
| ⑦洪水や濁水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

### ①主な活動内容

福生子どもの水辺(水辺の楽校)運営協議会は、市内を流れる多摩川を中心とした水辺において、環境保全に重きを置いた持続可能な活動を目指し、市民、NPO法人、市内の多摩川流域の管轄を担う漁協等と行政が協働で、福生市の「子どもの水辺(水辺の楽校)」を実施している。実施内容として、子どもを中心に自然体験学習を行う「多摩川で遊ぼう」と、その活動のためのボランティア養成講座である「多摩川サポーターズ」、市内小中学校における多摩川の総合学習支援、福生水辺の楽校の拠点施設である「川の志民館」の管理運営、市内の小中学校へのヤマメの卵配付事業と、大きく分けて5つの事業を行っている。

なお、本調査の設問2において、1)~3)は「多摩川で遊ぼう」及び「多摩川サポーターズ」について、5)は「小中学校における多摩川の総合学習支援」及び「ヤマメの卵配付事業」について回答するものとする。

### ②PRポイント

「小中学校における多摩川の総合学習支援」により、子どもの関心層の裾野を広げながら「多摩川で遊ぼう」及び「多摩川サポーターズ」の活動への参加につなげている。また、広報やHP、登録者へのメール等を通じて活動の周知を図っている。これらの取組により、令和元年度は「多摩川で遊ぼう」及び「多摩川サポーターズ」の参加者が過去最多となった。また、「ヤマメの卵配付事業」においては、小中学校で合わせて6校が活動に参加した。

### ③昨年度4月~3月の主な活動実績

#### 多摩川で遊ぼう

- ◆4月14日「ヨモギ団子を作って食べよう」  
河川敷でヨモギを摘み、ヨモギ団子を作って食べました。
- ◆5月12日「多摩川バードウォッチング」  
5月の多摩川にはどんな鳥がいるか観察しました。
- ◆6月2日「マスのつかみ取り」  
市のイベント「ふっさ環境フェスティバル」の会場内でマスのつかみ取りをしました。
- ◆6月9日「水生生物観察」  
スタッフがつかまえた多摩川の水生生物を観察しました。
- ◆7月14日「多摩川の上流部へ行こう」  
多摩川の上流部へ行き、ダムの見学や奥多摩湖畔の散策等を行いました。
- ◆8月11日「いかだで冒険、多摩川で泳ごう」  
多摩川で、手作りのいかだに乗りたり泳いだりしました。
- ◆9月8日「多摩川の魚をつかまえよう」  
多摩川中央公園近くの多摩川に入って網で魚をつかまえました。
- ◆10月14日「ハッタをゲット」  
多摩川の草原でハッタ等の虫をつかまえ、虫の講話を聴きました。
- ◆11月10日「手作り凧あげ」  
多摩川中央公園の自然の中にある材料で凧を手作りして上げました。



- ◆12月8日「クリスマスリースを作ろう」  
多摩川中央公園の自然の中にある材料でリース等を作りました。
- ◆1月12日「川原のごみ拾い&餅つき大会」  
普段遊んでいる多摩川をきれいにし、町会の餅つき大会にも参加しました。
- ◆2月9日「多摩川バードウォッチング」  
2月の多摩川にはどんな鳥がいるか観察しました。



#### 多摩川サポーターズ

- ◆5月12日「かくれんぼ広場水辺の秘密基地作り」  
多摩川中央公園内の倒木を使い、秘密基地作りと称して遊具の作成等を行いました。
- ◆8月11日「いかだを作ろう」  
当日午後の「多摩川で遊ぼう」で使ういかだを、竹を切り出して組み立てました。
- ◆9月8日「水生生物をつかまえて水質をしらべよう」  
スタッフがつかまえた多摩川の魚を観察し、簡単な検査で多摩川の水質を調べました。
- ◆11月10日「水辺の散策路ごみ拾い&焼き芋」  
水辺の散策路のごみを拾ってきれいにし、焼き芋を作って食べました。



#### 市内小中学校における多摩川の総合学習支援

- ◆5月9日「野鳥の観察」  
福生第五小学校全学年(275名)を対象として実施しました。
  - ◆5月28日「プールのヤゴ採取観察」  
福生第三小学校2年生(79名)を対象として実施しました。
  - ◆5月29日「植物昆虫観察」  
福生第七小学校3年生(44名)を対象として実施しました。
  - ◆6月4日「ヤゴ採取観察」  
福生第四小学校3年生(38名)を対象として実施しました。
  - ◆7月11日「水生生物観察」  
福生第一小学校3年生(58名)を対象として実施しました。
  - ◆9月9日「わが町の宝探しインタビュー」  
福生第三中学校1年生(6名)を対象として実施しました。
  - ◆9月10日「植物昆虫観察」  
福生第六小学校1年生(46名)を対象として実施しました。
  - ◆9月20日「植物昆虫観察」  
福生第二小学校2年生(62名)を対象として実施しました。
- その他、全31回実施

#### ヤマメの卵配付事業

- ◆11月8日 福生第一小学校に約200粒の卵を配付し、孵化した約150匹の稚魚を12月23日に放流しました。
  - ◆11月8日 福生第二小学校に約200粒の卵を配付し、孵化した約200匹の稚魚を12月23日に放流しました。
  - ◆11月8日 福生第四小学校に約400粒の卵を配付し、孵化した約300匹の稚魚を12月23日に放流しました。
  - ◆11月8日 福生第五小学校に約200粒の卵を配付し、孵化した約150匹の稚魚を12月9日に放流しました。
- その他、福生第七小学校に約250粒、福生第一中学校に約250粒の卵を配付しましたが、いずれも孵化しませんでした。

#### ④課題・問題点等

参加者が低年齢化しており、ボランティアスタッフの養成を目的とした中学生以上の年齢層や保護者の方々の参加がさらに求められる。

# たちかわ水辺の楽校

河川名 残堀川(多摩川水系)  
 場所 東京都立川市  
 登録年度 平成20年度  
 登録番号 13-20-020

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学校 3年	総合	年間約100人	(残堀川での水生生物、植物観察会)
小学校 4年	総合	年間約100人	(残堀川での水生生物、植物観察会)
小学校 4年	総合	年間約200人	(体育館で多摩川学習、残堀川で観察会)
		年間約	( )

- ①自然や水に親しむ「親水活動」
- ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」
- ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」
- ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」
- ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」
- ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」
- ⑦洪水や濁水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」
- ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」
- ⑨花火・祭り・風揚げなどの「イベント活動」
- ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」
- ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」
- ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」
- ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」
- ⑭その他の活動

### ①主な活動内容

本「子どもの水辺」では、多摩川、残堀川(立川市柴崎町、富士見町周辺)の水辺の利活用の促進を図るため、市民、地域団体と立川市(環境対策課、子育て推進課)等が連携し、近隣小学校の3校の環境教養学習・体験活動の場として動・植物観察会、多摩川源流体験教室、美化活動等を行っている。子どもの体験活動を支援するためのスタッフ育成の交流会等にも参加し、研修の機会もつくって

②PRポイント 拠点となる施設(たちかわ創造舎管理の)たまがわみらいパーク企画運営委員会とはたちあげから様々な交流を含め運営会議にも積極的に参加している。拠点施設の環境の良さ(富士山が見え 多摩川に面している)を生かし観察会等を行っている。そこから徒歩15分(立川駅からバスで数分)の場所が残堀川。公立小学校の親水活動、水生生物観察会を行っている。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

- ◆ 4月 定期総会(活動報告、予算決算、活動計画)
- ◆ 研修会 残堀川で水生生物観察会
- ◆ 5月 第四小学校で  
4年生 地域学習多摩川学習 支援(約100名)
- ◆ 6月 第四小学校 4年生へ残堀川で  
水生生物、植物観察会実施(約100名)
- ◆ 6月 立川市 環境フェア参加  
活動内容展示と多摩川クイズ
- ◆ 7月 多摩川源流体験教室 説明会体験教室(24日)実施  
25名参加 多摩源流こすげ スタッフ
- ◆ 8月、9月 新生小学校、第一小学校へそれぞれ 4時間  
環境学習支援を 残堀川実施(担当教師と打ち合わせ含め)  
のべ 約200名参加
- ◆ 10月 たまがわみらいパークまつりに参加協力どんぐり人形づくり
- ◆ 12月 野鳥観察会 日本野鳥の会東京のスタッフを講師に迎える  
多摩川の土手を散策し 恒例の観察会(25名参加)
- ★ 9月昆虫観察会は雨天中止、役員会開催や地域団体との交流会に参加(約25回)



### ④課題・問題点等

活動が天候に左右されるため 学習支援のための日程調整とスタッフの確保が難しい。  
 ボランティア活動のため 働いている人の平日での学習支援のスタッフとしての活動が制限される。  
 若いスタッフの養成。  
 拠点施設に学習支援の用具等をおいているため 観察会の場所への 荷物の移動に時間を要する。  
 親水活動の場所の近くに 網や観察ケース置き場等があるとよい。(こどもの水辺の設置)

# うのき水辺の楽校

河川名 多摩川(多摩川水系)  
 場所 東京都大田区  
 登録年度 平成25年度  
 登録番号 13-25-022

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学校 3年	総合的な学習	年間約 139 人	( ④ 生き物図鑑の使い方 )
小学校 4年	総合的な学習	年間約 134 人	( ④ 生き物図鑑の使い方 )
小学校 5年	総合的な学習	年間約 122 人	( ⑤ )
小学校	総合的な学習	年間約 60 人	( ④ )

- ①自然や水に親しむ「親水活動」
- ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」
- ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」
- ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」
- ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」
- ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」
- ⑦洪水や濁水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」
- ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」
- ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」
- ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」
- ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」
- ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」
- ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」
- ⑭その他の活動

### ①主な活動内容

大田区鵜の木地区の多摩川沿岸で活動している団体と町会、大田区関係機関、国交省などの河川管理者が連携し、子供たちの自然体験や交流を通して、多摩川における良好な水辺環境づくりや自主的・主体的な環境教育を行うことを目的としている。具体的には、生き物調査（ガサガサ体験）、野鳥や植物・昆虫観察、などの体験活動を安全面に留意しながら行っている。さらに近隣の多摩川水辺の楽校シンポジウムに参加して子供同士の交流を行っている。

### ②PRポイント

ガサガサでは汽水域に生息する魚、エビ・カニ、水生昆虫など多くの種類の生き物が採集できます。秋から冬にかけて渡り鳥が見られます。うのき水辺の楽校が制作した『多摩川生き物図鑑』や野鳥観察シート『多摩川の野鳥①秋から冬の水鳥』を使って、子供たちが自分で調べることが出来ます。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績 その1 イベント

日 付 (4月～翌年3月)	実施概要	実施場所	◆対象者	参加人数(人)				
				合計	小学生	中学生	大人	スタッフ
第1回4月27日(土)	バードウォッチング 「多摩川・春の野鳥観察」	多摩川台公園	小学3年生以上	60	21	5	20	14
第9回11月23日(土)	バードウォッチング 「多摩川の渡り鳥に出会おう！」	雨天プログラムで嶺町小学校ホール	小学生以上	59	27	1	21	10
第10回2月1日(土)	バードウォッチング 「冬の野鳥観察」	多摩川台公園 ～丸子橋緑地公園	小学3年生以上	92	43	0	38	11
第3回6月1日(土)	多摩川河口・大師河原干潟の生き物を見つけよう！	大師河原干潟 だいし水辺の楽校	小学3年生以上	76	33	4	30	9
第2回5月18日(土)	ガサガサ体験・生き物調べ	嶺町小学校前 多摩川	小学3年生以上	108	62	3	29	14
第5回8月4日(日)	ガサガサ体験・生き物調べ	嶺町小学校前 多摩川	小学3年生以上	138	64	4	41	29
第6回9月21日(土)	河川敷の昆虫探し	嶺町小学校前 多摩川・河川敷	小学生以上	163	84	0	65	14
小計				696	334	17	244	101
第11回2月16日(日)	多摩川水辺の楽校シンポジウム	エポック中原(川崎市)		17	9	0	4	4
合計				713	343	17	248	105

第4回7月14日(土)・15日(日) ガサガサたいけん・たま川の生きものをつかまそう！(小学校1・2年生)雨天中止

第7回10月13日(日) ガサガサ体験・生き物調べ(小学3年生以上)台風19号の影響で中止  
 第8回11月10日(日)丸子の渡し祭りに「ミニ水族館」「揚げパン」で出店台風19号の影響で中止  
 3月8日(日)学習会「台風19号は多摩川にどのような影響を与えたか」新型コロナウイルス感染の影響で中止

③昨年度4月～3月の主な活動実績 その2 授業支援				スタッフ参加人数	
5月～2月	嶺町小学校多摩川活動への授業支援。年間23回。	嶺町小学校前多摩川 嶺町小学校 大師河原干潟	2～6年	延べ人数	78
9月	南六郷小学校授業支援年間4回	南六郷小学校 嶺町小前多摩川	4年生	延べ人数	6



**「春の野鳥観察」4月27日(土)**

今年の春は短く、種類は多くみられませんでした。耳を澄ますと木々に隠れている鳥たちの鳴き声が聞こえ、時々姿を見せてくれました。



**「ガサガサ体験・生き物調べ」5月18日(土)、8月4日(日)**

たくさんの親子が参加しました。自分で採集した生き物を『多摩川生き物図鑑』を使って調べました。子どもスタッフのメンバーが優しく見分け方を教えてくれました。



**「多摩川・河川敷での昆虫観察会」9月21日(土)**

前日より10℃も気温が下がったので、昆虫の動きがゆっくりで、小さな子供でも虫をつかまえることができました。講師のえのきん(榎本正邦)さんの魅力的なお話にみんな聞き入っていました。



**4年生多摩川活動・生き物調べ 講師派遣 6月4日(火)**

採集した生き物の見分け方と図鑑の見方を説明した。この後、実際に『多摩川生き物図鑑』を使って調べた。【嶺町小学校】

**「3年生多摩川活動」6月3日(月)**

スクールサポート嶺町と協働して、安全管理担当をした。【嶺町小学校】

**④課題・問題点等**

各イベントの内容は、講師や地域の人々の協力もあり充実してきたが、1,2年生の参加者の増加に比べ4年生以上の参加者があまり増えていない。小学生高学年・中学生のボランティアの子供たちを対象に「子供スタッフ育成プログラム」の試行を開始した。このプログラムに参加した子供たちが意欲的に仕事をし、多摩川の自然に興味を持ち成長する姿を見せている。プログラムの内容を充実させていきたい。

当会が作成した『多摩川生き物図鑑』『多摩川の野鳥①』は、子供たち調べ学習に効果があるが、野鳥観察会でのより有効な活用方法の研究が課題である。

# 鶴見川流域子どもの水辺・新羽

河川名 鶴見川(鶴見川水系)  
 場所 神奈川県横浜市  
 登録年度 平成20年度  
 登録番号 14-20-006

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学校・4年生		年間約 103 人	( ①、⑫ )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )

- ①自然や水に親しむ「親水活動」
- ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」
- ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」
- ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」
- ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」
- ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」
- ⑦洪水や濁水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」
- ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」
- ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」
- ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」
- ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」
- ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」
- ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」
- ⑭その他の活動

### ①主な活動内容

・港北区の環境学習や地域交流政策「港北 水と緑の学校」の活動拠点としての利用が行われており、学校教育や社会教育の一環として子どもたちの水辺活動が継続的に行われている。  
 ・市民団体が中心となり、定期的に清掃活動、生物調査などを行っている。  
 ・市民団体と小学校、地元町内会等が連携し、鶴見川の歴史・文化などにふれるイベントも行われている。

### ②PRポイント

・河岸のわんどにおいて、環境学習等安全に水辺で活動することができる。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

◆港北水と緑の学校事業で、以下の小学校の学習を実施  
 ・9月12日(木)新田小学校・4年生(103名)  
 魚とり、虫とり、生きもの観察

◆新羽わんど倶楽部  
 ・毎月第4土曜日 10時～12時 クリーンアップ等を実施

・7/20(日)新羽小学校土曜塾と協働で、鶴見川舟運体験会を開催予定だったが、荒天のため中止



### ④課題・問題点等

わんどの通水状況が、徐々に悪化しており、乾燥化が進んでいたため、平成30年度に京浜河川事務所が、湿地再生のための作業をNPO法人鶴見川流域ネットワークに委託した。今後の環境改善が期待される。

階段護岸の位置が離れているため、堤防天端から、水辺までのアクセスルートが遠回りになってしまう。

# 瀬戸川子どもの水辺

河川名 瀬戸川(瀬戸川水系)  
 場所 静岡県藤枝市  
 登録年度 平成30年度  
 登録番号 22-30-010

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学校 1・2年生	生活科	年間約 30 人	( 瀬戸川の石みがき体験 )
小学校 3・4年生	総合	年間約 43 人	( 瀬戸川の文化・伝統行事を知ろう )
小学校 5・6年生	総合	年間約 44 人	( 稲葉のとうろんで飾る「あんどん」制作 )
全校生徒	総合	年間約 119 人	( 瀬戸川で川遊び )

- ①自然や水に親しむ「親水活動」
- ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」
- ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」
- ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」
- ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」
- ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」
- ⑦洪水や渇水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」
- ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」
- ⑨花火・祭り・風揚げなどの「イベント活動」
- ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」
- ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」
- ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」
- ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」
- ⑭その他の活動

①主な活動内容  
 ○「とうろん」などの伝統的河川行事の継承＝瀬戸川を利用した伝統的な行事を継承するため、「とうろん」などを開催する。  
 ○安全な河川利用(川遊びや魚捕りなど)の拠点作り＝河川の適切な維持管理を行うとともに、安全パトロールを行う。  
 ○自然体験活動イベントの開催＝川遊びや水生生物の観察会などの自然体験活動イベントを開催する。  
 ○河川愛護の啓発活動＝川遊びやバーベキュー、花見など市民が川と親しむ場としての河川環境や景観の保全、マナー向上のための啓発活動を実施する。

②PRポイント  
 瀬戸川は広い砂利河原を有する清流で、地域の伝統文化を多く育んでいる。特に、古くから伝わる火の祭りである「とうろん」(運動会の玉入れのように、火の玉を投げ入れて、かごから火の粉が舞い上がる)と「大龍勢」(大型のロケット花火)は、よく知られている。平常時は浅い瀬が続く、緩やかで清らかな流れは、川遊びや魚捕りに適しているだけでなく、地域住民の交流や家族のレクリエーションの場、さらに環境教育の拠点として使われている。毎年、多数の家族連れが川遊びやバーベキュー、花見などで利用しているが、過去二度、子どもの水難死亡事故が発生している。  
 このため、瀬戸川子どもの水辺の活動を通して、川の伝統行事の継承と安全な川遊びが体験できる拠点として、川の魅力を発信する。

## ③昨年度4月～3月の主な活動実績(この他活動については別紙参照)

- ◆令和元年7月18日  
 実施主体:静岡県島田土木事務所(写真③)  
 概要:子どもが安全に遊べる河川環境を確認するため、稲葉小学校や稲葉地区地区交流センター、藤枝市等関係者と合同でパトロールを実施。
- ◆平成30年8月8日～11日「夏の子どもキャンプ第20回」(写真①)  
 実施主体:特定非営利活動法人里の楽校  
 概要:とことん地域らしさにこだわった、川や野山をフィールドにした自然体験。
- ◆令和元年8月10日「稲葉のとうろん」(写真②)  
 概要:古くから伝わる火の祭。「稲葉のとうろん保存会」が伝統を継承し、毎年実施。2,000人近い来場者。
- ◆令和元年9月11日「全校川遊び」(写真④)  
 実施主体:藤枝市立稲葉小学校  
 概要:多くの保護者地域の方の見守りのもと、



④課題・問題点等  
 ・組織の知名度を上げて、川遊びの文化を発信する拠点として存在感を出す。  
 ・予定している「川の本」の編集・出版を進め、川の魅力を広く発信すること。

# 矢田川子どもの水辺

河川名 矢田川(庄内川水系)  
 場所 愛知県名古屋市  
 登録年度 平成18年度  
 登録番号 23-18-009

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学1・2年	生活	年間約 30 人	( 水生生物調査、ガサガサ探検隊、水質調査、ボート遊び )
小学3・4年	理科・社会	年間約 240 人	( 水生生物調査、ガサガサ探検隊、水質調査、ボート遊び )
		年間約	( )
		年間約	( )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」                  |
| ⑦洪水や渇水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

### ①主な活動内容

・本「矢田川子どもの水辺」では、矢田川(名古屋市・東区及び北区周辺など)の水辺の利活用の促進を図るため、市民と行政(名古屋市・市民団体・地域住民の代表者など)が連携し、近隣小学校の環境教育・体験活動の場として水質・生物調査、美化活動等を行うとともに、子どもの体験活動を支援するための人材育成の際の地域や学生ボランティア、に積極的に取り組んでいる。

### ②PRポイント

名古屋の都市河川でふるさとの川「矢田川」と地域住民の密接な関係を築いている。河川管理者による資機材の貸し出し、指導をおこなうため、幼稚園や小学校、聾学校の学習支援、体験学習のニーズが高い。また、図書館での体験学習や「矢田川おそび2019」イベントにより、親子による活動体験が共有され、地域住民との密接な関係を築いている。親世代もふくめて身近な「川」の利活用の促進や環境保全意識を高めることに役立っている。

### ①昨年度4月～3月の主な活動実績

・5月14日、5月31日、6月4日、6月14日、6月18日、6月25日、7月9日、8月1日、8月3日、8月23日、8月25日、9月6日、9月19日、10月11日に河川教育を支援する活動を実施 概要 小学校、幼稚園等の体験学習、自然観察会の支援。

・8月3日、8月25日に親子参加型の協議会主催の河川体験イベント実施 概要 河川体験イベント「矢田川あそび2019」水生生物の捕獲・観察、透視度計・パックテストによる「水質調査」による支援等の支援、協議会主催のイベント「矢田川あそび2019」の開催

・5月29日、7月29日、8月19日に利活用のための環境整備の実施(除草、清掃)



### ④課題・問題点等

平成30年度に豊田市の小学校で熱中症による死者がでており、熱中症の対策を実施している。ポンプによる散水での温度低下、テントによる日陰設置、食べられる氷、冷房したマイクロバスの休憩所、大型扇風機による送風、プログラム間の休憩を長くして実施した。2名がバスで休憩したが短時間で回復した。

# 日野川わくわくウォーターランド

河川名 日野川(日野川水系)  
 場所 滋賀県東近江市  
 登録年度 平成15年度  
 登録番号 25-15-002

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
		年間約 <input type="text"/> 人	( <input type="text"/> )
		年間約 <input type="text"/> 人	( <input type="text"/> )
		年間約 <input type="text"/> 人	( <input type="text"/> )
		年間約 <input type="text"/> 人	( <input type="text"/> )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」                  |
| ⑦洪水や渇水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

### ①主な活動内容

本「こどもの水辺」では、日野町～東近江市蒲生地区～竜王町～近江八幡市を流れる日野川の源流から下流までを子ども達と巡り、そこに暮らす生き物を調査し、水質や川の環境を調べることで、環境の違いと見られる生き物の違いを感じてもらい、日野川たんけんの活動を実施している。下流では魚釣り、上流と中流では川で水生生物の調査を、源流では標高1,110mの綿向山を登りました。

### ②PRポイント

一つの川の源流から、琵琶湖に注ぐ河口付近まで巡り、それぞれの環境に暮らす生き物に出会えます。合わせて、その川のCODや濁り具合を調べます。生き物調査では、関心の強い子ども達は自分で図鑑など使って同定をしてもらいます。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

◆5月11日「日野川たんけん(下流・上流編)」を実施(写真①、②)  
 バスにて午前中は近江八幡市佐波江の日野川下流に行き、魚釣りや水質調査をした。田植え後で水が濁っているため、食いつきが悪くてあまり釣れず、ヌマチチブとブルーギルのみであった。気温22℃、水温23℃、COD 7ppm、透視度26cm  
 次いで、午後に日野川上流の日野町熊野平熊橋付近に移動し、生き物調査と水質調査を実施した。冷たい水が気持ちよく、たくさんの生き物を見ることができた。主な生き物は、魚類:タカハヤ、アブラハヤ、マドジョウ 昆虫類幼虫:オニヤンマ、コオニヤンマ、ダビドサナエ、ミヤマカワトンボ、オオヤマカワゲラ、ヒゲナガカワトビケラ、トビケラ類、ヘビトンボ他 両生類:カジカガエル他 甲殻類:サワガニ  
 気温26℃、水温16℃、COD 2ppm、透視度100 cm以上



◆9月7日「かいどり大作戦(中流編)」を実施(写真③、④)  
 東近江市蒲生支所横の佐久良川(日野川支流)中流にて、当初7月27日に実施予定だったものを、当日台風6号の影響で増水したため、9月7日に規模を縮小して実施した。当地での「かいどり大作戦」は30回程実施しているが、絶滅危惧種のスジシマドジョウなど毎年出会える生き物には今年もほぼ出会えた。休憩を挟みながら2時間弱で10台程の水槽に魚などが一杯に 釣きたらライフジャケット姿で水にプカプ



に黒なとか一軒に、馳せにちフイソマツツト妻で水にノカノカ、その後はプランクトン観察や水質調査を行った。  
 主な生き物は、魚類:カワムツ、オイカワ、アユ、トウヨシノボリ、オウミヨシノボリ、ドンコ、スジシマドジョウ、シマドジョウ  
 昆虫類幼虫:コオニヤンマ、コヤマトンボ、コシボソヤンマ、ヒゲナガカワトビケラ、タイコウチ 甲殻類:スジエビ、ヌマエビ  
 気温31℃、水温28℃、COD 4ppm、透視度100 cm以上



- ◆10月20日「日野川たんけん(源流編)」を実施(写真⑤、⑥)  
 日野町西明寺の綿向山登山口から登り、途中、参加者はデジカメに秋の気配を納めたり、落ち葉などを採集しながら登った。山小屋などで休憩しつつ登り、7合目の金名水と称する水場にて、ここから日野川の流れが始まることを見もらった。昼頃に1,110mの綿向山山頂に到着。眼下には日野川水系から琵琶湖、比良山系が、反対側には伊勢湾が望めた。主な生き物は、昆虫類:オオセンチコガネ、センチコガネ、ヒナバタ 甲殻類:サワガニ 貝類:イブキクロイワマイマイ 爬虫類:マムシ 植物:ワタムキアザミ、マムシグサ、ブナ他



- ◆令和2年1月25日「近畿くこどもの水辺」交流会in京都に参加(写真⑦、⑧)

以上の活動に参加してくれた子ども達の中から4人が代表として、京都府八幡市で開催された交流会にて発表を行った。発表に当たっては、キノコの名前を自分達で図書館から図鑑を借りてきて調べるなどし、活動内容をポスター2枚にまとめた。  
 当日は和歌山を除く近畿5府県から集まった計10団体の子ども達が一堂に会し、グループ別活動発表会と、グループ別交流会、全体交流会を実施し、参加した4人の子ども達は他所の子ども達の活動から刺激を受けていた。



#### ④課題・問題点等

もう少し参加する子どもが増えるよう、PRの仕方を考える必要がある。  
 「かいどり大作戦」の会場では、近年の台風による大水の影響で、川の流れが変わり、実施しにくい状況である。

# 斐伊川(横田)水辺の楽校(斐伊川子どもの水辺)

河川名 斐伊川(斐伊川水系)  
 場所 島根県奥出雲町  
 登録年度 平成12年度  
 登録番号 32-12-004

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学校1, 2年	生活科	年間約 45 人	( 散策 )
小学校5, 6年	生活科	年間約 14 人	( たからかな流し )
		年間約 人	( )
		年間約 人	( )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」                  |
| ⑦洪水や渇水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

①主な活動内容  
 近隣の小学校の環境教育・体験活動の場としてたたらかな流し体験、水遊び等、積極的に利用されている。

②PRポイント  
 水がきれいな川で、水生生物調査や水遊びができます。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

鳥上小学校

4/26 春さがし

◆1, 2年生の生活科や図画工作科で施設利用

参加人数 8名

4/22 生活科 「春さがし」

4/26 生活科 「ヨモギ摘み」

5/9 図画工作科 「はっばや花で遊ぼう」

7/3 生活科 「水遊び」

10/23 生活科 「秋さがし」

11/27

かなながし体験

◆9/30 全校写生会の時間に施設利用

参加人数 25名中10名

◆11/27 5, 6年生のかなながし体験

参加人数 14名



④課題・問題点等  
 少子化による参加人数の減。

# 子どもの水辺「四国三郎」

河川名 吉野川(吉野川水系)  
 場所 徳島県美馬市  
 登録年度 平成16年度  
 登録番号 36-16-003

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
		年間約 <input type="text"/> 人	( <input type="text"/> )
		年間約 <input type="text"/> 人	( <input type="text"/> )
		年間約 <input type="text"/> 人	( <input type="text"/> )
		年間約 <input type="text"/> 人	( <input type="text"/> )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらおうなどの「広報活動」                 |
| ⑦洪水や渇水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

### ①主な活動内容

子どもの水辺「四国三郎」では、美馬市水辺の楽校及びその周辺において春祭りを開催することにより、徳島県西部健康防災公園の整備促進を支援すると共に、地域振興と観光の促進に寄与することを目的とする。第5回の記念開催とし、健康と防災をテーマに、完成して間もない徳島県西部防災館と防災センターの周知を図るイベントが開催された。

### ②PRポイント

吉野川中流域の美馬市水辺の楽校で、自然に親しみながらアメゴつかみ取りや野鳥観察会など様々なイベントが開催され、美馬市内外から幼児や老人を含む家族づれや複数のグループがおとずれるなど、地域交流の場となっている。

### ③昨年度4月～3月の主な活動実績

#### ◆5月12日「第5回美馬市水辺の楽校春祭り」を実施

美馬市水辺の楽校春祭り実行委員会の主催により、「第5回美馬市水辺の楽校春祭り」が中鳥川公園周辺で開催され、野鳥観察会、アメゴつかみ取りなど様々なイベントで賑わった。



### ④課題・問題点等

野鳥観察会が本会場と離れるために、春祭りとの一体感が薄れている。毎年、大学生の参加が多くイベント自体に問題はないが、幅広い年齢層も参加してもらえるようにすることが課題。

# 乙津川水辺の楽校

河川名 乙津川(大野川水系)  
 場所 大分県大分市  
 登録年度 平成15年度  
 登録番号 44-15-003

## 授業での活用状況

学年(小・中学 年)	教科	参加人数	活動内容
小学校4年	総合学習	年間約 100 人	( 自然観察 )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )
		年間約 [ ] 人	( [ ] )

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ①自然や水に親しむ「親水活動」              | ⑧水害から自分で自分の身を守る意識・知識を育ませる「水防に関する活動」    |
| ②COD調査や生物指標調査等水辺の「水質調査活動」    | ⑨花火・祭り・凧揚げなどの「イベント活動」                  |
| ③川の清掃・ゴミ拾いなど水辺の「美化・保全活動」     | ⑩川や水辺のもつ癒し効果を利用した「福祉活動」                |
| ④動植物の観察・調査・保全等の「生物調査・保全活動」   | ⑪カヌー・釣りなど、川を利用した「スポーツレクリエーション活動」       |
| ⑤川遊び、川流れなどの「川の体験活動」          | ⑫水辺の楽しさや危険を学ぶなど、水難事故に遭遇しないための水辺の「安全講習」 |
| ⑥川の歴史や文化を研究、継承する「歴史・文化活動」    | ⑬地域に川を知ってもらうなどの「広報活動」                  |
| ⑦洪水や濁水の調査・周知活動を行う「治水・利水学習活動」 | ⑭その他の活動                                |

### ①主な活動内容

本「子どもの水辺」では、乙津川の水辺の自然と生きものを守り、子どもたちの自然体験や世代をこえた交流、憩いの場として利用すること目的に、自然観察、カヌー体験、美化活動等に積極的に取り組んでいる。

### ②PRポイント

- ・水遊びができます。
- ・カヌー体験ができます。
- ・野鳥の観察ができます。

### ①昨年度4月～3月の主な活動実績

◆9月14日「第8回乙津川で遊ぼう！」を実施  
 子供達の河川に親しむ心を育むこと」を目的として毎年9月に開催。約1,000名が参加。



◆9月18日「水辺周辺自然観察学習塾」を実施  
 小学校高学年を対象に、魚類・甲殻類等の観察や野鳥観察を行い、乙津川水辺周辺の自然観察学習を通じて河川愛護を啓発する活動を実施。小学生約100名が参加



### ④課題・問題点等